

第42回 住まいのリフォームコンクール

優秀賞

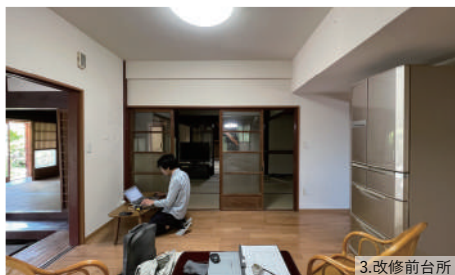
リフォーム前後の写真



1.改修前外観



2.改修前玄関まわり



3.改修前台所



4.玄関戸及び書斎窓を木製サッシに変更した外観



5.大黒柱まわりの壁天井を取り外した内部空間



6.日光室に天窓からの光を取り入れ、全体を明るくする



7.古いものと新しいものが共存した空間



8.書斎は窓を変更し、土壁仕上とする



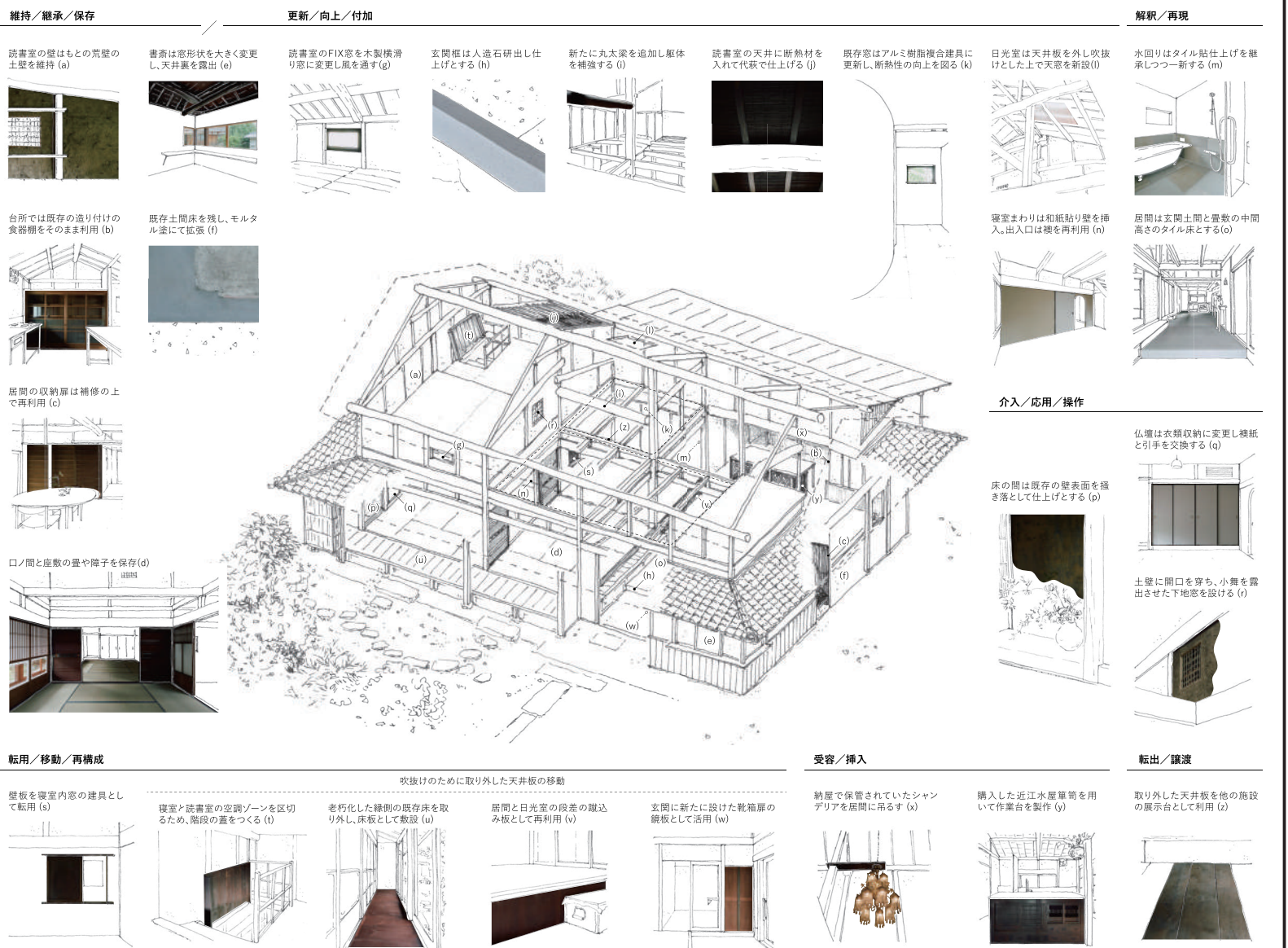
9.水回り設備は更新し、洗面カウンターやキッチンを製作する

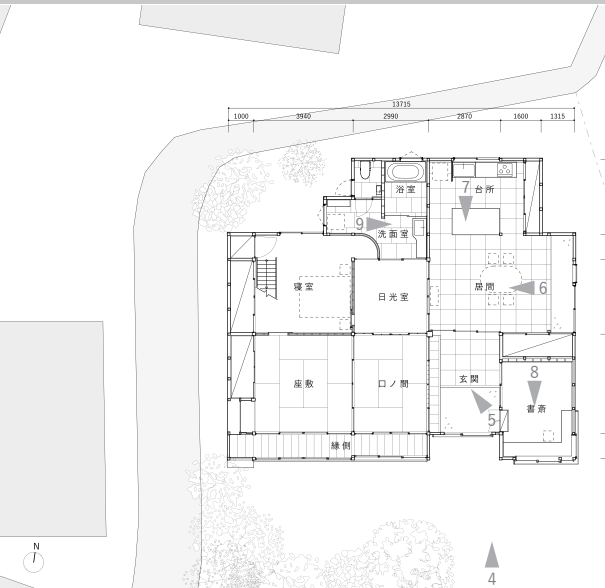
1-2,4-9 撮影:倉本あかり

第42回 住まいのリフォームコンクール 優秀賞	タイトル	近江路の家		所有・ 建方形式	持家一戸建	講評
	設計	(同)多和良屋	施工	(株)サクジ工務店	構造	

古民家で課題となる中央部の採光不足を、吹抜けと天窓を設けた「日光室」で見事に解消している。また古民家改修では往々にして新旧の対比が強調されがちだが、ここでは解体した既存部材を極力再利用することで廃棄物を減らし、建物の物語を次世代に紡いでいる。

古民家で課題となる中央部の採光不足を、吹き抜けと天窓を設けた「日光室」で見事に解消している。また古民家改修では往々にして新旧の対比が強調されがちだが、ここでは解体した既存部材を極力再利用することで廃棄物を減らし、建物の物語を次世代に紡いでいる。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など					リフォーム前の平面図		リフォーム後の平面図		
琵琶湖沿いの古い集落にある古民家を購入して改修するものである。廊下がなくプライバシーが守られにくい、奥の諸室が暗いという古民家によくある問題に対し、中央の室を、諸室を繋ぐ結節点としたうえで、吹き抜けと天窓を設け、穏やかな光を取り込み、家全体に拡散している。古民家の粘り強さを生かした構造補強と効率的な断熱性能の付加をおこない、水回りをすべて更新することで快適な生活環境を実現している。			吹き抜けを設ける際に外した天井板は縁側の床板や新設した靴箱の扉板として活用し、余りは他施設の展示台に利用することで廃棄される材を減らす。台所では大きな棚を残し、他から購入した中古の近江水屋簀笥を用いて作業台を製作する。ダイニングに吊したシャンデリアは、この家の蔵で眠っていたものである。既存ストックの良さを生かし、受け継ぐものと新しいものが混然一体となって積み重なった生活空間に豊かさを見出している。						
審査基準のうち右記に該当する場合は ☒ a.ストックの有効活用 / ☐ b.深刻化する技能者不足への対応 / ☒ c.既存住宅流通・リフォーム市場の拡大・活性化									
性能向上の特性		特に配慮した事項		lw 値、ls 値					
温熱性能、耐久性能、耐震性能 室内空気環境、バリアフリー性能		断熱材設置、アルミサッシをアルミ樹脂複合サッシに更新、水回り設備機器更新、梁追加・火打ち梁設置、地盤沈下部分鋼管杭設置		リフォーム前 リフォーム後					
データ									
所在地	滋賀県草津市	新築竣工年	1936 年	築後年数	89 年	施工期間	200 日間		
該当工事床面積	170.05 ㎡	総工事床面積	170.05 ㎡	該当部分工事費	2,000～3,000万円未満	総工事費	2,000～3,000万円未満		
居住者構成	65 歳以上： 人	40～64 歳： 2 人	15～39 歳： 人	14 歳以下： 人	ペット： 人				
リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マシヨン共用部分/ □その他									

リフォーム部位： ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ □エクステリア/ □マシヨ共用部分/ □その他